

ひな人形と花のまちをアピール

2月8日、エルミここのすショッピングモールで鴻巣の地場産業である花のPRや消費拡大を目的とした「フラワーバレンタイン」を開催し、3組の皆さんが、身近な方へ花を贈り、日頃の感謝を伝えました。

また、2月19日には、エルミここのすショッピングモールで「鴻巣びっくりひな祭り2020オープニングセレモニー」が開催されました。会場では、1,835体のひな人形が飾られた日本一高いピラミッドひな壇を見上げる多くの来場者でにぎわいました。



▲びっくりひな祭りオープニングセレモニー



▲フラワーバレンタイン



▲びっくりひな祭りのイベントの様子



北新宿生涯学習センター・児童センター落成式



2月16日、北新宿生涯学習センター・児童センターの落成式を開催しました。

本施設は、太陽光発電や蓄電池を備え、災害に強く環境にやさしい施設となっています。また、市内最大の50席を備える自習室や、遊戯室のクライミングウォール、幼児室及び児童図書室の床暖房、飲食ができる専用の部屋など既存施設にはないさまざまな特徴があります。



▲遊戯室で遊ぶ様子

100歳！ますますお元気で

100歳を迎えられた長谷川チャヤさん(大正9年2月15日生・上谷)をお祝いしました。健康長寿はみんなの願いです。2月25日現在、市内で100歳以上の方は51人います。これからどうぞお元気で



コウノトリについて学んだよ！ ゲストティーチャーが小学校へ

1月24日～2月19日の間、小学校4校(中央小・赤見台第一小・赤見台第二小・笠原小)の児童264人を対象にコウノトリゲストティーチャー授業を行いました。

今回は、県内で唯一コウノトリを飼育している埼玉県こども動物自然公園の飼育係の方を講師に迎え、現場での体験を交えたお話などに子どもたちは興味深く聞き入っていました。



▲生きものは「食べる」「食べられる」の関係で成り立つことを学びました

市内各地の伝統芸能が一堂に！郷土芸能まつり



2月9日、クレアこうのすで「郷土芸能まつり」を開催しました。

5年ぶりの開催となった会場では、市内の各地域に伝えられてきた獅子舞・棒術や万作踊り、お囃子、木遣り、さらには勇壮な梯子乗りなど、長く保存会の有志の手で伝承されてきた技が披露されました。(来場者=899人)

◀小谷ささら獅子舞

大野知事が本市へ「ふれあい訪問」

2月14日、大野知事が直接県民の方と話し合う「ふれあい訪問」で、本市を来訪しました。

「株式会社シード鴻巣研究所」と、企業と保育園が一体となって運営している「ふくろうの森保育園・シード保育園・学童保育ふくろうの森」を訪れた際には、コンタクトレンズ製造施設や保育園内を視察しました。

また、花と音楽の館かわさと「花久の里」では、鴻巣びっくりひな祭り2020のつるし雛やバラ園などを視察し、「ひな人形と花のまちこうのす」の魅力を感じていただきました。



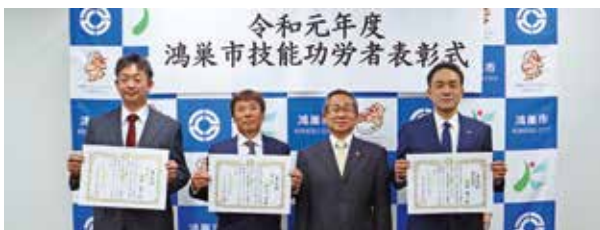
▲つるし雛が飾られた茶室を視察



◀園児とふれあう大野知事

技能功労表彰式

2月25日、卓越した技能で同一の職種に従事し、後進の育成等に貢献した技能者を表彰する「技能功労者表彰式」を行い、建築板金の武井陽一さん、とび・土木の村上正さん、大工の今井真一さんを表彰しました。



児童センターの遊具が復活

ボランティアグループ「鴻巣おもちゃの病院」の皆さんの修理により、鴻巣・笠原・吹上児童センターの「タッチパネル」が使えるようになりました！

鴻巣おもちゃの病院の皆さん、ありがとうございました。

